



DIGITAL HEARTS HDGS.



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL <https://www.digitalhearts-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 筑紫 敏矢
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 伊丹 英人 (TEL) 03(3373)0081
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,835	5.8	295	△26.8	315	△24.1	211	△37.4
2024年3月期第1四半期	9,296	11.0	404	△36.3	415	△34.4	338	△18.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 367百万円(△14.6%) 2024年3月期第1四半期 429百万円(△39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.51	—
2024年3月期第1四半期	15.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	21,388	8,972	39.9
2024年3月期	21,103	8,852	39.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,530百万円 2024年3月期 8,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.50	—	10.50	21.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	10.50	—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,100	13.7	3,100	52.0	3,100	50.6	2,100	94.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	23,890,800株	2024年3月期	23,890,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,615,011株	2024年3月期	1,615,011株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	22,275,789株	2024年3月期1Q	22,258,710株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

	2024年3月期 第1四半期 (千円)	2025年3月期 第1四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	9,296,554	9,835,299	5.8
営業利益	404,299	295,962	△26.8
経常利益	415,199	315,293	△24.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,280	211,860	△37.4

当社のDHグループ事業を取り巻くエンターテインメントコンテンツ関連市場では、ゲームの海外同時展開の加速を背景に翻訳やマーケティングに関する需要が増加するとともに、動画・漫画アプリといったコンテンツの多様化に伴う新たなビジネスチャンスが拡大しています。一方、当社のAGESTグループ事業を取り巻くデジタル関連市場では、慢性的なIT人材不足により引き続きテスト工程のアウトソース需要が拡大するとともに、アジャイル開発の普及拡大等を背景に、開発の上流工程における品質向上やAIをはじめとする先端技術活用による効率化・精度向上への対応が求められています。

このような状況のもと当社では、DHグループ事業の目指す姿として“エンターテインメント業界のグローバル・クオリティ・パートナー”を、AGESTグループ事業の目指す姿として“先端品質技術を追求したグローバルNo.1のQAカンパニー”を掲げ、積極的に新たな挑戦を進めております。その一環として当社では、2023年5月にAGESTグループ事業の中核子会社である株式会社AGEST(以下、「AGEST」)の株式分配型スピンオフ及び上場(以下、「スピンオフ上場」)の準備開始を決議し、2025年内のスピンオフ上場に向けた取り組みを推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、2024年4月1日付でスピンオフ上場後を見据えた新たなマネジメント体制へと移行し、両事業それぞれの専門性や成長戦略に特化した事業運営に注力してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、DHグループ事業のグローバルサービスで2桁成長を実現したことに加え、AGESTグループ事業でも着実に新規案件を獲得したことにより、9,835,299千円(前年同四半期比5.8%増)と増収を達成いたしました。一方、利益面では、AGESTグループ事業において、特定案件のクライアント側の計画見直しに伴う収益性の一時的な低下や前期第2四半期連結会計期間から大幅に増加したスピンオフ上場準備費用の影響等により、営業利益は295,962千円(前年同四半期比26.8%減)、経常利益は315,293千円(前年同四半期比24.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は211,860千円(前年同四半期比37.4%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報並びに当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

	2024年3月期 第1四半期 (千円)	2025年3月期 第1四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	9,296,554	9,835,299	5.8
DHグループ事業	5,681,479	6,032,638	6.2
AGESTグループ事業	3,796,094	3,913,991	3.1
調整額	△181,019	△111,329	—
営業利益又は営業損失(△)	404,299	295,962	△26.8
DHグループ事業	339,998	402,298	18.3
AGESTグループ事業	64,300	△106,336	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益又は営業損失(△)としております。

① DHグループ事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲームやモバイルゲーム等の不具合を検出する国内デバッグサービスのほか、ゲームの翻訳・LQA(Linguistic Quality Assurance)、マーケティング支援、ゲーム開発支援、フリーランスエンジニアを活用したエンジニア派遣等を行うグローバル及びその他のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間の国内デバッグサービスでは、新規タイトル開発を活発に行っているクライアントに経営リソースを集中させるなどの戦略的な営業活動に注力するとともに、引き続き当社独自の品質メソッドであるDHQ(Digital Hearts Quality)を推進しサービスの付加価値向上に努めることで、高いシェアの維持・拡大に努めてまいりました。一方、グローバル及びその他のサービスでは、前期から取り組みを強化していた欧米言語をはじめとする翻訳・LQAの新規案件を着実に獲得するとともに、マーケティング支援で大型案件を獲得したことにより、大幅増収を達成いたしました。また、アライアンスパートナーとの連携強化や株式会社ロゼッタと共同開発をしているゲーム特化型AI翻訳エンジンの実用化に向けた取り組みを推進するなど、新たな成長に向けた挑戦を積極化いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のDHグループ事業の売上高は6,032,638千円(前年同四半期比6.2%増)、セグメント利益は402,298千円(前年同四半期比18.3%増)と増収増益を達成いたしました。

② AGESTグループ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するシステムテスト、脆弱性診断等のセキュリティテスト、ERPの導入支援等を行うQAソリューションのほか、ソフトウェアやネットワークの監視・攻撃検知・対策を行うSOC(Security Operation Center)運営、システムの保守・運用支援等を行うITサービス及びその他のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続きAGESTを中心にハイスキルエンジニアの増強に注力するとともに、AGESTの付加価値領域と位置付ける“シフトレフト”及び“シフトライト”領域における事業拡大を推進いたしました。また、“AI Debug for Enterprise”のローンチをはじめ、テスト工程におけるAI活用を本格化するとともに、独自のテスト自動化ツールである“TestArchitect”のマルチ展開を加速するなど、技術に特化したソリューションの拡充に努めることで、“テック”企業としてのブランド構築や競合他社との差別化を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のAGESTグループ事業の売上高は3,913,991千円(前年同四半期比3.1%増)と増収を達成いたしました。一方利益面では、特定案件のクライアント側の計画見直しに伴う収益性の一時的な低下や、前期から実施しているスピンオフ上場準備に伴うグループ間の人材再配置の影響等により、セグメント損失106,336千円(前年同四半期は、セグメント利益64,300千円)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産の残高は13,527,887千円となり、前連結会計年度末における流動資産13,526,669千円に対し、1,218千円の増加(前期比0.0%増)となりました。これは、主として現金及び預金が129,830千円、その他流動資産が180,225千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が326,911千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は7,860,158千円となり、前連結会計年度末における固定資産7,576,426千円に対し、283,732千円の増加(前期比3.7%増)となりました。

これは、主として投資有価証券が203,986千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債の残高は12,193,523千円となり、前連結会計年度末における流動負債12,026,419千円に対し、167,103千円の増加(前期比1.4%増)となりました。

これは、主としてその他流動負債が249,529千円増加したものの、未払法人税等が71,022千円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は222,071千円となり、前連結会計年度末における固定負債224,314千円に対し、2,242千円の減少(前期比1.0%減)となりました。

(純資産)

純資産の残高は8,972,450千円となり、前連結会計年度末における純資産8,852,361千円に対し、120,089千円の増加(前期比1.4%増)となりました。

これは、主として為替換算調整勘定が171,564千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が34,725千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2024年5月9日付で「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想からの変更はありませんが、今後の事業環境の動向や業績の進捗を注視し、業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,858,575	6,988,405
受取手形、売掛金及び契約資産	6,003,199	5,676,288
有価証券	42,549	45,423
棚卸資産	31,579	29,358
未収還付法人税等	51,943	30,060
その他	625,965	806,190
貸倒引当金	△87,142	△47,838
流動資産合計	13,526,669	13,527,887
固定資産		
有形固定資産	1,491,050	1,518,331
無形固定資産		
のれん	2,313,341	2,270,145
その他	594,706	663,937
無形固定資産合計	2,908,048	2,934,082
投資その他の資産		
投資有価証券	1,793,427	1,997,414
その他	1,401,281	1,428,418
貸倒引当金	△17,381	△18,087
投資その他の資産合計	3,177,327	3,407,744
固定資産合計	7,576,426	7,860,158
資産合計	21,103,096	21,388,046
負債の部		
流動負債		
短期借入金	7,095,072	7,050,750
未払費用	1,217,779	1,286,319
未払法人税等	338,369	267,347
賞与引当金	160,252	124,630
その他	3,214,946	3,464,476
流動負債合計	12,026,419	12,193,523
固定負債		
退職給付に係る負債	11,913	14,315
その他	212,401	207,755
固定負債合計	224,314	222,071
負債合計	12,250,734	12,415,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	66,354	66,354
利益剰余金	9,137,264	9,115,229
自己株式	△1,818,333	△1,818,333
株主資本合計	7,685,971	7,663,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△107,144	△141,869
為替換算調整勘定	836,960	1,008,524
その他の包括利益累計額合計	729,816	866,655
非支配株主持分	436,573	441,859
純資産合計	8,852,361	8,972,450
負債純資産合計	21,103,096	21,388,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	9,296,554	9,835,299
売上原価	6,890,365	7,488,902
売上総利益	2,406,189	2,346,397
販売費及び一般管理費	2,001,889	2,050,434
営業利益	404,299	295,962
営業外収益		
受取利息	2,295	9,299
為替差益	8,915	21,296
助成金収入	423	5,370
その他	4,091	4,016
営業外収益合計	15,725	39,982
営業外費用		
支払利息	2,904	6,537
支払手数料	123	—
持分法による投資損失	—	3,876
控除対象外消費税等	—	8,984
その他	1,796	1,253
営業外費用合計	4,824	20,651
経常利益	415,199	315,293
特別利益		
事業再編損戻入益	—	41,253
特別利益合計	—	41,253
特別損失		
固定資産除却損	2,430	1,420
違約金	—	3,865
特別損失合計	2,430	5,285
税金等調整前四半期純利益	412,769	351,260
法人税、住民税及び事業税	143,303	143,585
法人税等調整額	△63,693	△12,233
法人税等合計	79,609	131,352
四半期純利益	333,159	219,908
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,121	8,048
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,280	211,860

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	333,159	219,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,063	△34,725
為替換算調整勘定	81,539	168,310
持分法適用会社に対する持分相当額	—	13,615
その他の包括利益合計	96,602	147,200
四半期包括利益	429,762	367,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,205	348,698
非支配株主に係る四半期包括利益	3,556	18,409

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法(2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物を除く)を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社で定額法に変更しております。

一部の国内連結子会社における有形固定資産の現在の使用状況並びに、今後取得予定の設備の利用計画を総合的に勘案した結果、定額法による償却費の期間配分が資産の使用実態をより合理的に反映すると判断し、変更したものです。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DHグループ 事業	AGEST グループ 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,518,908	3,777,646	9,296,554	9,296,554	—	9,296,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	162,571	18,448	181,019	181,019	△181,019	—
計	5,681,479	3,796,094	9,477,574	9,477,574	△181,019	9,296,554
セグメント利益	339,998	64,300	404,299	404,299	—	404,299

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△181,019千円は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2. セグメント利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DHグループ 事業	AGEST グループ 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,931,507	3,903,792	9,835,299	9,835,299	—	9,835,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101,130	10,199	111,329	111,329	△111,329	—
計	6,032,638	3,913,991	9,946,629	9,946,629	△111,329	9,835,299
セグメント利益又は損失(△)	402,298	△106,336	295,962	295,962	—	295,962

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△111,329千円は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は2024年4月19日開催の取締役会において、当第1四半期連結会計期間より、セグメント区分並びに名称を変更することを決議いたしました。

当社では前連結会計年度より株式会社AGESTの株式分配型スピノフ及び上場に向けたマネジメント体制の変更やグループ組織再編等を進めており、スピノフ上場後を見据え、新たなセグメント区分に基づく業績管理を早期に実施することといたしました。

この見直しに伴い、従来持株会社として当社グループの横断的な管理組織であった株式会社デジタルハーツホールディングスは、専らエンターテインメント事業の管理組織としての機能整理が完了したことから、当第1四半期連結会計期間から「エンターテインメント事業」に区分することとしました。

また前連結会計年度まで「エンタープライズ事業」として区分していた株式会社アイデンティティは、当社グループ内での事業属性等の見直しを行ったことから、当第1四半期連結会計期間から「エンターテインメント事業」に変更することとしました。

本区分変更にあわせて、前連結会計年度まで使用していた「エンターテインメント事業」並びに「エンタープライズ事業」は、当第1四半期連結会計期間より「DHグループ事業」、「AGESTグループ事業」に、それぞれ名称変更することとしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」に記載のとおり、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では主に定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社で定額法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益又は損失（△）に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	128,533千円	121,636千円
のれんの償却額	152,151千円	125,076千円